

vol.6



秋田市柳田にある「本道の街サービスセンター」で、資生堂のビューティーセラピスト（BT）による化粧療法プログラム「お化粧教室」が開催された。2度目の開催となったこの日、参加したのは23名の施設利用者。「いいお天気ですね、お元気でしたか？」BTの明るい声掛けにより、それまで硬かった参加者の表情が段々と和らいでいく。（文）

がることがわかった。心理面だけでなく、生活全般に良い効果をもたらすこのプログラムは、全国の高齢者施設、病院などからも注目を集めている。

化粧療法をレクリエーションに取り入れた本道の街サービスセンター・主任生活相談員の山上孝久さんは、初回からその効果を実感したという。「利用者様は、化粧をやめてしまった方がほとんど。最初は化粧を嫌がっていた方も、『資生堂』と聞いて気持ちが変わったんです。老舗ブランドである資生堂さんが来てくれる、という所もポイントだったんでしょね。化粧の行程とともに笑顔がキラキラと輝いてくる。化粧は女性としての原点。化粧をすることでその原点を取り戻していくように感じました。」

このプログラムは、簡単な手のストレッチから始まる。香りのオイルを手首につけ、リズムよく動かす。その後、顔に化粧水、乳液、下地クリームを塗り、ファンデーションが配られる。キラキラとしたコンパクトに思

「二瞬も一生も美しく」
化粧を通して元気を届けたい

資生堂・ビューティーセラピスト

本道の街サービスセンター・主任生活相談員

山上孝久さん

鮎沢仁身さん
石塚美佳さん
関智恵子さん

プラス5歳の健康寿命を目指して

「化粧療法プログラム」は、超高齢化社会の抱える課題解決策のひとつとして、資生堂が開発し2013年に事業化されたプログラムだ。

化粧の動作は食事の2〜3倍腕の筋肉を必要とする。高齢者が継続的に化粧をすることにより、表情に変化があるだけでなく、認知症状の緩和、日常生活動作の向上等の効果が期待でき、生活の質の向上につながる（文）

わず笑顔がこぼれる参加者。

「スール、スール、ポンポンポンッ！」BTの声掛けに合わせてリズムカルに化粧が進む。全ての行程をできる限り一人で行えるようBTがサポート。眉を描き、口紅を塗って最後にほお紅。「きれいですよ！とっても上手！」施設全体が笑顔と明るい雰囲気包まれる。仕上げにバラの香りのローションで髪を整え、色鮮やかなコサージュが配られると「ピンクとって。」髪さつてくれ。」などの声があり、さらに笑顔が輝く。最後はBTとハイタッチをして約50分のプログラムが終了。「ありがとう、まだ来てけれな。」開始時とはまったく違う、いきいきとした表情。きれいになることで、人は輝き元気になる。化粧のちから」を体感したひとときだった。

4人に1人が65歳以上という超高齢化社会で、そのうち500万人以上が要介護認定を受けている現状。課題解決の糸口として、この活動がさらなる広がりを見せることを期待している。



1/左から関さん、石塚さん、山上さん、鮎沢さん 2/一人ひとり名前を聞きながら名札作り 3/リズムに合わせて「グー、パー」 4/男性はファンデーションの代わりにおしろいを使用 5/おしゃべりにも花が咲きます 6/ハイタッチで終了



□資生堂販売株式会社 東北支社
秋田支店
SLQ推進部 ビューティーセラピスト
秋田市東通仲町4-1
秋田拠点センターアルヴェ6階
☎ 018-884-0431 (代表) 鮎沢、石塚
資生堂ライフクオリティ事業 検索

□社会福祉法人 晃和会
本道の街サービスセンター
秋田市柳田字川崎138番地
☎ 018-884-7727

